

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

小中一貫教育を推進する本校は、小学校6年間中学校3か年間の計9か年を見通した学習に取り組んでいる。

世界遺産学習を中心とした郷土学習、福祉学習、減災学習の3つの探求的な学習を柱に「地域とともに生きる」をテーマに据え、幼稚園や高等学校・学校運営協議会や地域の方々、関係諸団体など様々なステークホルダーとの協働で、地域の宝である「人・もの・こと」と「関わり・つながり」を大切に体験活動の充実や交流活動を積極的に行っている。



【校内花いっぱい活動に地域の方々も協力】

自分たちの住む地域を拠点に郷土を愛する心を育み、広くグローバル視野で考え行動化できる「持続可能な大牟田の担い手育成」をめざしている。

3 特徴的な活動事例の紹介

○ 大牟田特別支援学校との交流

10年程続いている特別支援学校との交流では、七夕交流・クリスマス交流・わくわく交流の年間3回の交流を通して、本校の生徒と特別支援学校の生徒がそれぞれ工夫を凝らしたレクリエーションや七夕飾り作成で交流している。

今年のクリスマス会では心を込めた手作りのプレゼントを交換し、互いを思いやる心を育み、つながりを深めた。わくわく交流では、互いの日頃の学校生活を編集し、映像とメッセージで交流を深めた。



【大牟田特別支援学校との七夕飾り作り交流】

絵手紙を作成して、高齢者宅訪問

3年では、1・2年の福祉学習で学んだことをもとに、地域の高齢者のお宅を訪問し、心を込めて描いた絵手紙をプレゼントに、昔の話を聞いたり、日ごろの生活の困りごとを聞いたりと交流を深めた。

はじめは緊張で、うまく気持ちを伝えられなかったようだが、プレゼントを渡すことで、話題も増え、昔の地域の様子や宮原坑の話など聞かせていただいた。そして、たくさんの「ありがとう」をいただき、楽しく交流することができるようになっていた。



【高齢者のお宅訪問】

○『守る』～命・人権・地域～ 1年生

「命を守る体験学習」として、防災学習において自助の大切さを改めて理解し、学校・家庭・地域で身を守る行動がとれるよう取組んだ。また、世界文化遺産「宮原坑」の耐震工事が行われたこともあり、地域の宝「宮原坑」について深く学び、それらをどのように引継ぎ、次の時代に残していくかを考えた。

また、防災の視点から、地域の宝を守るために、地域に住む自分たちに何ができるかについて、市の防災危機管理室の方々の指導のもとで体験をとおして学び、考え、発信した。



【「命を守る」学習発表会】

3 今後の活動計画

写真のような、笑顔で安心・安全に過ごせる持続可能な社会の担い手育成を目指し、次の大きく3つを重点として取り組みたい。

- 令和7年度は、世界文化遺産「宮原坑」の世界遺産登録10周年となる。そこで、学校全体でさらに世界遺産学習に取り組み、自分たちの住むまちの「宝」とおして、どのようにまちづくりに取り組んでいったらよいかを考え、行動し、国内だけでなく世界に発信する取り組みを目指す。
- 「認知症取組のまち」として、高齢者宅訪問や認知症学習・認知症SOS模擬訓練などの体験学習を通して自分たちで考え、誰もが安心安全に住むことができるまちづくりについて取組を深める。
- ユネスコクラブ・有志では、世界遺産「宮原坑」における「フラワーチェーンプロジェクト」を継続し、世界遺産を花でいっぱいにするよう、さらに「関わり・つながり」を広げ、そして、深める取組を進めていく。

